

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】令和3年8月5日(2021.8.5)

【公開番号】特開2021-73305(P2021-73305A)

【公開日】令和3年5月13日(2021.5.13)

【年通号数】公開・登録公報2021-022

【出願番号】特願2021-19341(P2021-19341)

【国際特許分類】

A 6 1 K 35/545 (2015.01)

A 6 1 P 13/12 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 35/545

A 6 1 P 13/12

【手続補正書】

【提出日】令和3年6月28日(2021.6.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

生体の間葉系組織又は培養間葉系細胞から分離されたSSEA-3陽性の多能性幹細胞画分を有効成分とする細胞製剤であって、当該多能性幹細胞画分が、

(1) SSEA-3陽性であることを指標として精製されるか、又は、外部ストレス刺激により濃縮されることにより得られるものであり、ならびに

(2) 以下の性質：

(i) SSEA-3陽性であり；

(ii) CD105陽性であり；

(iii) テロメラーゼ活性が低い又は無い；

(iv) 三胚葉のいずれの胚葉の細胞に分化する能力を持つ；

(v) 腫瘍性増殖を示さない；及び

(vi) セルフリニューアル能を持つ

をすべて有するものであって、

当該細胞製剤が、慢性腎障害における、糸球体、遠位尿細管、又は、近位尿細管の再建及び修復を行うためのものである、前記細胞製剤。

【請求項2】

慢性腎障害が、慢性糸球体腎炎、腎硬化症、糖尿病性腎症、囊胞腎、慢性腎孟腎炎、急速進行性糸球体腎炎、悪性高血圧症、SLE腎炎、アミロイド腎、腎・尿路腫瘍、骨髄腫、閉塞性尿路生涯、痛風腎、腎形成不全、及び腎・尿路結核からなる群から選択される、請求項1に記載の細胞製剤。

【請求項3】

前記多能性幹細胞が、CD117陰性及びCD146陰性である、請求項1又は2に記載の細胞製剤。

【請求項4】

前記多能性幹細胞が、CD117陰性、CD146陰性、NG2陰性、CD34陰性、vWF陰性、及びCD271陰性である、請求項1～3のいずれか1項に記載の細胞製剤。

**【請求項 5】**

前記多能性幹細胞が、 C D 3 4 陰性、 C D 1 1 7 陰性、 C D 1 4 6 陰性、 C D 2 7 1 陰性、 N G 2 陰性、 v W F 陰性、 S o x 1 0 陰性、 S n a i 1 陰性、 S l u g 陰性、 T y r p 1 陰性、 及び D c t 陰性である、請求項 1 ~ 4 のいずれか 1 項に記載の細胞製剤。

**【請求項 6】**

前記多能性幹細胞が、腎障害部位に集積する能力を有する、請求項 1 ~ 5 のいずれか 1 項に記載の細胞製剤。

**【請求項 7】**

前記多能性幹細胞が、足細胞、メサンギウム細胞、糸球体内皮細胞、傍糸球体細胞、近位尿細管細胞、遠位尿細管細胞、血管内皮細胞、ヘンレわな、及び / 又は集合管の細胞からなる群から選択される 1 つ以上の細胞に分化する能力を有する、請求項 1 ~ 6 のいずれか 1 項に記載の細胞製剤。